

平成 22 年度第 2 回南丹市社会教育委員会 会議録

平成 22 年 12 月 21 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 35 分

南丹市園部公民館 3 階 小研修室

会議出席者

社会教育委員 上野嘉雄、高木茂、池田瞭、松本則子、小栗須賀野、小畑弘、
松本明美、数井洋次

市教育委員会 東野教育次長、岸本社会教育課長、佐々谷課長補佐、平井課長補佐

傍聴人数 0 名（定数 5 名）

1 開会

司会（岸本課長）

委員の皆様方大変ご苦勞様でございます。本日は年末のあわただしい時期に社会教育委員会を開催しましたところ、たいへんお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。本日の会議ですが、麻田委員、杉尾委員、中西委員、秦委員につきましては、他の会議や所要のためご欠席されます事をうかがっております。それ以外の委員の皆様はご出席されておられます。定刻になりましたので、ただいまから第 2 回南丹市社会教育委員会を開催させていただきます。

開会にあたり教育委員会を代表いたしまして、東野次長よりご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ（東野教育次長）

みなさんこんにちは。本年度第 2 回の南丹市社会教育委員会を開催いたしましたところ、年末何かと押し迫ってお忙しい中お繰り合わせご出席いただきましたことに厚く御礼申し上げます。本日教育長につきましては他の公務が重なったため出席ができません。私が代理で出席させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

南丹市の教育行政につきまして、何かとご支援ご協力をいただきこの場をお借りしましてお礼申し上げます。とりわけ中学校給食については、12 月 20 日に課題検討委員会の答申を受けたところです。21 日発行の京都新聞では「アンケート結果や審議会議事録は公表しない」と掲載されていますが、年明け 1 月 17 日の定例教育委員会終了後公開していくこととなります。このあたりが報道機関にうまく伝わっておらずご迷惑をおかけしましたが、ご理解いただきますようお願いいたします。

あわせて、少子化が進む中で、小学校の教育環境のあり方につきましても議会におきましてご質問をいただいております。こちらにつきましては、10 月に市 P T A 連絡協議会におせわいただき P T A 単位会長と教育委員さんとの意見交換会を

開催し、11月には学校評議員さんと教育委員さんとの意見交換会をもちましてご意見をいただいております。また学校の校長会・教頭会・教務主任会それぞれに諮問をしております、学校の現状なりを勘案して学校環境のあり方について来年2月には答申をいただく予定となっております、それを受けて23年度には小学校の再編についても一定専門的な観点や学問的な観点も加えた検討委員会を進めていかなければならないというような事も考えております。そういったところから南丹市の教育行政、とりわけ学校教育に関わる課題が進んでいくこととなります。

今回の第2回社会教育委員会というのは、来年9月に開催されます全国社会教育研究大会が京都で開催されるということから、これに向けての当面の諸課題をご協議ご検討いただく必要が生じたことから、急遽開催させていただきました。何かとお世話になりますがよろしくお申し上げます。

最後にもう一点だけお話させていただきます。現在23年度予算案の作成を進めているところですが、23年度予算案では教育委員会では『生涯にわたって学び続けることができる教育基盤づくりの推進』を基本テーマとしまして、教育委総務課、学校教育課、そして社会教育課が予算案を作成しております。社会教育課におきましては『市民相互のふれあい・学びあいを深める社会教育の充実』を重点テーマとしまして「市民に人権意識を育む学習機会の充実」「親の育ちを支援する学習機会の充実」「市民スポーツのすそ野を広げる取組の推進」の三本柱を設けまして諸施策推進に向かって行きたいと考えております。社会教育委員の皆様方には、今後とも社会教育事業の推進に何かとご支援ご協力を賜りますが、よろしくお申し上げまして、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

司会（岸本課長）

それでは本日の次第に基づきまして協議に入らせていただきたいと思います。議事の進行を代表委員であります小畑委員にお世話いただきます。よろしくお願いいたします。

3 議題（議長：小畑代表委員）

司会者からありましたとおり、私のほうで進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、来年9月に京都で開催されます第53回全国社会教育研究大会の概要について事務局から説明をお願いします。

第53回（平成23年度）全国社会教育研究大会京都大会について

① 大会概要について（平井課長補佐）

事務局の平井でございます。委員の皆様方には日ごろ何かとお世話になっており

ましてありがとうございます。それでは早速ですが、第53回全国社会教育研究大会の概要についてご説明させていただきます。お手元の次第1ページをご覧ください。

資料にありますとおり、全国社会教育研究大会(京都大会)が平成23年9月20日から22日までの3日間開催されます。この大会は平成23年度近畿地区社会教育研究大会及び京都府社会教育研究大会を兼ねて行われます。

大会スローガンは『おこしやす おもてなしの心を培う社会教育を!』となっています。また、研究主題は『「社会的親」の創出による「公共力」の醸成 ～見てみぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～』です。

初日の9月20日は全国社会教育連合会理事会ですので、実質的には21日と22日の2日間となります。21日は12時30分から京都会館にてアトラクションの後、開会行事・基調講演・シンポジウムが行われます。また最終日の22日は、長岡京市立中央公民館、宇治市文化センター・宇治市中央公民館、ガレリアかめおかの3会場(6分科会)に分かれ午前9時から正午まで、パネルディスカッションとポスターセッションを並行して行う分科会が開催されます。

例年、京都府研究大会や近畿地区研究大会では、全体会や分科会に積極的にご参加いただきご研鑽をいただいておりますが、今回は地元開催の全国大会であり、とりわけガレリアかめおかで開催されます分科会においてその運営を、南丹ブロックの社会教育委員会(南丹市、亀岡市、京丹波町)として連携してお世話いただく事となります。この点につきまして、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

議長(小畑代表委員)

事務局から説明いただきましたが、来年の全国大会(京都大会)の概要について初めて聞かれた方も委員さんの中にはおられると思いますので、ご質問等がありましたらよろしくお願ひします。

ガレリアかめおかでの3つの分科会は、南丹地区で3分科会を運営するのではなく、丹後ブロック、中丹ブロック、南丹ブロックで各々分科会運営をします。しかしながらガレリアかめおかが南丹ブロックにあることから、実質的には他の2ブロック以上に中心的に取り組んでいかなければなりません。来年1月になったら、南丹ブロック以北の3ブロックの代表委員の会議を行い、分科会の具体的な運営(役割分担等)について協議を行うこととなっています。

この件に関しましてご意見がないようですので、つぎの南丹ブロック実行委員会について事務局からご説明願ひします。

第53回(平成23年度)全国社会教育研究大会京都大会について

② 南丹ブロック実行委員会について（平井課長補佐）

先ほどご説明しましたとおり、全国大会最終日(9月22日)にガレリアかめおかにて分科会が行われ、その運営を南丹ブロックで行うことや大会全般にかかる諸課題を協議するため「第53回全国社会教育研究大会京都大会南丹ブロック実行委員会」（以下実行委員会という）を12月9日に組織いたしました。構成は南丹地区社会教育委員連絡協議会の委員組織が母体となっています。実行委員長は亀岡市社会教育委員の宝積玄承氏が就任されており、南丹市からは小畑委員、上野委員、小栗委員の3名にお世話になっています。

詳細は次第2ページから4ページをご参照願います。

議長（小畑代表委員）

事務局からの説明について、少し補足いたします。12月9日に開催されました第1回の実行委員会では、実行委員会規程、委員構成の承認、大会に向けての諸課題について確認いただきました。

この件に関しまして、ご意見等がありましたらよろしく願います。

特段ご意見が無いようですので、次の議題について事務局からご説明願います。

第53回（平成23年度）全国社会教育研究大会京都大会について

③ 大会開催にかかる協賛金等の協力について（平井課長補佐）

先ほどから説明しておりますこの全国大会ですが、公募型のパネルディスカッションやフロアにおけるポスターセッションなど新しい試みが多く、またガレリアかめおかや京都会館のように、会場使用料が、それなりに掛かるところでの開催となっている点や、全国大会ということで人員の輸送などにもコストがかかることから京都府実行委員会において、府内の事業所等に協賛金を募って、その果実を運営に充てるという方向性が出されました。

12月9日の実行委員会でもご協議いただきましたが、大会協賛金の募集活動を進めていく主眼は大会予算の確保と社会教育の啓発であり、ただ単に協賛金を集めていくのではなく、協賛金の募集を通じて府内事業所に社会教育事業を啓発していくことも大きな要素としております。これらの活動を社会教育委員さんにお世話いただきたいと考えています。

具体的には、次第の6ページから13ページにお示ししています内容を府内事業所をお願いに上がることとなります。事務的な流れは13ページを参照願います。

議長（小畑代表委員）

この件に関しまして、お金も絡む話ですので、府実行委員会の副会長もされてお

られます上野委員さんから補足を兼ねて詳細説明をいただければありがたいです。

上野委員

今年の10月末に福島県で開催されました全国大会にも来年の大会運営に関連することから、小畑委員さんと一緒に行ってきました。全国大会は昨年は熊本県で、一昨年は北海道の帯広で開催されています。大会は例年10月下旬に開催されていますが、ご案内のとおり来年の10月下旬は国民文化祭が京都で開催されることから、9月下旬になりました。

協賛金方式は昨年の熊本大会から実施されています。事務局から説明がありまして、とおりに協賛金のお願いについては、大会予算の確保だけでなく社会教育事業の啓発も大きなテーマであります。何卒ご理解ご協力いただきたいと思います。

岸本課長

事務局側から本来はご意見を言う立場ではございませんが、お金集めることになりますので確認しておかなければならないのは、全体経費(予算)のうち、協賛金などの位置にあるのかと、南丹ブロックで具体的にどれだけの協賛金を集めなければならないのかを理解し、またお願いに上がる事業所についてきっちり割り振りしておかないとご迷惑をおかけするので、ある程度具体的な数字や流れを押さえる必要があります。

また、来年2月までに協賛依頼となっていますが、ちょうどその時期に日吉ダムマラソンでスポンサー(とりわけ日吉地区)依頼に回るので、事業所側にすれば重複する形になるので、そのあたりを十分すみ分けていくべきであると思います。

上野委員

全国大会(京都大会)は約1,091万円を総額予算としています。そのうち協賛金(府全体で)150万円、京都府からの補助金として170万円、大会参加費として(5,000円×1,500人で)750万円、全国社会教育連合会や近畿・府社教委連からの助成金として21万円となります。

議長(小畑代表委員)

協賛金の150万円のうち、南丹ブロックでは30万円を協賛でお世話いただく目標としています。亀岡市と京丹波町と南丹市の2市1町で単純に割りますと10万円がひとつの目標となります。また具体的に協賛をお願いに上がる事業所はこのあと出し合って地区ごとに委員で分担して年明けに回るということをお願いして行きたいと考えています。

※ この後、具体的に協賛依頼に行く事業所及び社会教育委員の分担を協議

議長（小畑代表委員）

次に、全国大会についてのその他項目を説明願います。

第 53 回（平成 23 年度）全国社会教育研究大会京都大会について

④ その他（平井課長補佐）

先ほどもご説明しましたが、全国大会の最終日について、今までであったら分科会テーマがあらかじめ固定され、分科会前半に府県輪番制で発表者の事例を基にした課題提起がなされ、後半で意見交換となっていました。京都大会では公募式（パネラーになりたい人や市町村の立候補方式）で 5 つのテーマに沿って内容固定しないでパネルディスカッションを行うこととなっています。このため、どの分科会に入っても、すべてのテーマでパネルディスカッションがなされ、パネラーだけでなくフロア（参加者）も含めた意見交換の場を持つという考え方となっています。また、各会場のロビーでは「ポスターセッション」を公募方式で実施することとなっています。これらの試みは今までに無い方法であり、第 53 回の全国大会を、府実行委員長（府社会教育委員連絡協議会長）の杉本会長のお言葉を借りれば「京都大会から新たに『第 1 回大会』を開催する気概で行う」との事だそうです。

それから今後、全国大会の運営に際して諸協議事項が発生し、今日のようにご参集いただくことがあるかもしれませんが、京都大会の成功のため、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

高木委員

ポスターセッションとはどんなものなのか。

事務局（平井課長補佐）

ポスターセッションとは、模造紙大の紙に発表内容をイラストや写真などを掲載し（それを「ポスター」といいます）、それを元に交えて発表（説明）する手法です。本年 11 月 26 日に長岡京市で開催された京都府社会教育研究大会でも試験的に行われ、南丹市からは小畑委員が美山での地域づくりについて発表されました。聴講者（フロア側）は出入り自由のうえ、パネラーの説明中に質問も可能なため垣根が無くフラクナ反面、説明内容が十分伝わったかの実感が説明者側にわかりにくいころもあります。今日までこの手法は主に大学の研究学会などで用いられてきましたが、コミュニケーション能力を培うことが近年注目され、学校現場などでも取り入れはじめられています。

議長（小畑代表委員）

他にご意見やご質問はございませんか。

なければ、その他項目の説明を事務局からお願いします。

4 その他（平井課長補佐）

当面の予定事業は次のとおりです。

①平成23年(平成22年度)南丹市成人式について

- ・平成23年1月9日(日)13:30から 南丹市園部公民館にて開催
- ・新成人(住民登録者数)は 429名

②南丹地区体育協会連絡協議会生涯スポーツ講演会について

- ・平成23年1月23日(日)13:30から 府立口丹波勤労者福祉会館にて開催
- ・講師 藤田信之氏(シメックス女子陸上競技部顧問)

③平成22年度南丹地区人権教育指導者研集会について

- ・平成23年1月31日(月)13:30から ガレリアかめおかにて開催
- ・講師 原 清治氏(佛教大学教育学部教授)

また、報告事項としましては次のとおりです。

①南丹市人権教育・啓発推進協議会だより「ひびき」第8号発行(22年8月)

②南丹市PTA連絡協議会だより発行(22年11月)

③南丹市青少年すこやかフォーラム(22年11月27日開催)

議長（小畑代表委員）

ただいまの説明及び報告に関しましてご質問はございませんか。

なければ、本日の会議を終わりますがいかがでしょうか。

無いようですので閉会の挨拶を小栗副代表委員からお願いします。

5 閉会

(小栗副代表委員)

本日は年末のお忙しいところ長時間になりましたがご協議いただきありがとうございました。来年の全国大会の成功に向けて委員の皆様にはいろいろとご協力いただかなければなりません、よろしく願いいたします。簡単ではありますが閉会のあいさつとさせていただきます。